

## 第39回少年の主張全国大会開催要綱 ～わたしの主張2017～

1. 趣 旨  
少子高齢化、国際化、情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会において、次代を担う子どもたちには、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められています。  
そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などと共に、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらおう力などを身に付けることが大切です。  
少年の主張全国大会は、子どもたちにとって、これらの契機となることを願い実施するものです。
2. 開催日時 平成 29 年 11 月 12 日（日）13 時～16 時
3. 対 象 日本在住の中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にあるもの。  
※国籍は問わないが、日本語で発表できること。  
なお、作品は未発表、自作のものに限ります。
4. 主 催 国立青少年教育振興機構
5. 協 力 都道府県、青少年育成都道府県民会議、全日本中学校長会  
日本私立中学高等学校連合会、公益法人日本 PTA 全国協議会
6. 後 援 内閣府、文部科学省、東京都教育委員会、日本放送協会  
一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会  
社会福祉法人全国社会福祉協議会
7. 開催場所 独立行政法人教育振興機構  
国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号
8. 主張発表者（出場者）・発表内容
  - (1) 主張発表者 各都道府県より推薦された地方大会（都道府県大会）優秀者 1 名、計 47 名の中からブロック代表として選ばれた 12 名が主張発表を行います。
  - (2) ブロック代表定数 全国を 5 ブロックに分け、ブロック毎に出場者数を定め、それぞれの数のブロック代表を選出します。  
○北海道・東北ブロック…2 名 ○関東・甲信越静岡ブロック…3 名  
○中部・近畿ブロック…3 名 ○中国・四国ブロック…2 名 ○九州ブロック…2 名
  - (3) 発表内容 ア 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など。  
イ 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど。  
ウ テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など。  
上記のような内容で、心からの思い、考えたことや感銘を受けたことなどを、少年らしい自由でユニークに、飾り気のない言葉でまとめたもの。
  - (4) 発表時間 5 分程度（400 字詰原稿用紙 4 枚程度）
9. 表 彰
  - (1) 全国大会出場者全員（12 名）に国立青少年教育振興機構理事長より奨励賞、全国大会で発表しなかった都道府県代表者全員（35 名）に同理事長より努力賞を贈ります。
  - (2) 全国大会の審査委員会で審査の上、内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・国立青少年教育振興機構理事長賞を授与します。また、審査委員会の審査過程によっては、審査委員会委員長賞が選考される場合があります。